

～薬物乱用防止教室を開催しました～

11月17日（水）に茨城県警察本部少年課の方を講師にお招きし、6年生を対象に薬物乱用防止教室を行いました。薬物について知っているか聞かれた子供たちからは、「覚せい剤」や「大麻」等の名前が出てきました。芸能人等が薬物で逮捕されるニュースが多数報道されていることもあり、子供たちにとって薬物は「知らないもの」ではなかったようです。

教室では、たばこやお酒、大麻、覚せい剤などの薬物についてのお話の後、お話された内容についてのクイズ、最後に薬物の標本や写真などを見てまわりました。子供たちは、真剣な態度で話を聞き、写真などを見ていました。子供たちには薬物のような恐ろしいものと決して関わることなく、大切な自分の人生をしっかりと生きてほしいです。今後も、子供たちが「正しい知識」と「はっきりと断る勇気」、「自分を大切にできる気持ち」をもつことができるよう、話をしていきたいと思います。



◆最後に質問がたくさん出ました。◆

「子供がタバコを吸うことも薬物乱用ですか？」

⇒『未成年がタバコやお酒を使うことも薬物乱用になります。』

「薬物はなぜ『はっば』などの名前で売られているのですか。」

⇒『薬物を使っている人には分かる暗号のようなもの。他にも、「やさい」「アイス」など気付かれにくい名前で呼ばれています。』

「薬物は何種類くらいあるのですか。」

⇒『何百種類もたくさんあり、どんどん増えています。』

「誰が薬物を売っているのですか？」

⇒『大きな悪い組織が背景にいます。個人で売っている場合はあまりないようです。』

大麻が最近大きな問題になっています。一部海外で合法化されたことから、「大したことがない」という勘違いをしている人が多い大麻。しかし、大麻は紛れもなく薬物です。将来にわたって脳の発達に影響を及ぼすそうです。大麻1本にタバコ22本分の有害物質が含まれているそうです。

覚せい剤などの薬物を使うきっかけは、「すっきりするよ」「やせられるよ」「1回くらい大丈夫だよ」などの甘い言葉です。見た目も、全てが「白い粉」ではありません。かわいい色でかわいい柄が描いてあるものもあります。



<子供たちの感想より>

- 薬物を体の中に入れることで、とても怖い事が起きてしまったり、自分で制御できないなどがあるため、教えてもらったことをしっかり頭に叩き込んで生活しようと思いました。あと、タバコやお酒は体にはあまり良くないし、依存してしまう人がいるのになぜ売っているのかが疑問に思いました。
- 最近は、様々な年代の人が違法薬物を使って逮捕されたというニュースをよく見て、この教室を受けるまでは他人事だったけれど、受けてからは逮捕された人も誰かに騙されたかもしれないし、逮捕された人もかなりの苦しみを味わったかもしれないと思いました。なので、僕達が大人になる頃にはそのようなできごとを起こさないためにも、今回学んだことをよく覚えておこうと思いました。
- 周りでお父さんとおばあちゃんがタバコを吸っていて、おばあちゃんはいつも「死んだら仏壇にタバコをお供えて」と言っているので、タバコは依存性がすごいものだ今回の授業で改めて実感しました。大人になってもよく考えてからタバコを吸うか決めようと思いました。
- 覚醒剤などの薬物と知らずに飲んでしまう人もいるという話を聞いて、怖いなと思いました。いくら仲が良い友達などからおすすめされても絶対に騙されてはいけなないとわかりました。なにか悩んでいることがあったら家族や警察などの大人の人に相談することが一番良いことがわかりました。